

新規実施隊員の確保・育成によるクマ・イノシシ対策(秋田県)

- 狩猟技術訓練施設を整備し、実施隊員の捕獲技術向上を推進
- 新たな担い手の確保を目的に、市町村の実施隊の活動をサポートする狩猟・実施隊の活動についてPRを実施
- 近年、新たな獣種として増加傾向である、イノシシの捕獲技術向上対策を推進

取組内容

- ツキノワグマによる被害増加と、新たにイノシシ等の侵入増加が懸念されたことから、令和元年度にトラップ・スキート射撃等を行う狩猟技術訓練施設を整備し、実施隊員の捕獲技術向上を推進



- 新たな担い手確保を図るため、狩猟・実施隊の取組について県が広くPRLし、新規実施隊員へ誘導する研修会を開催



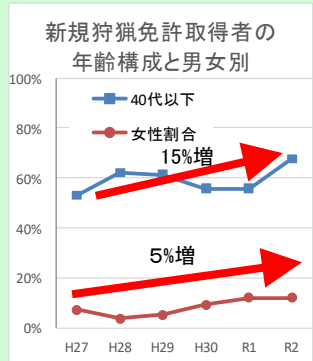
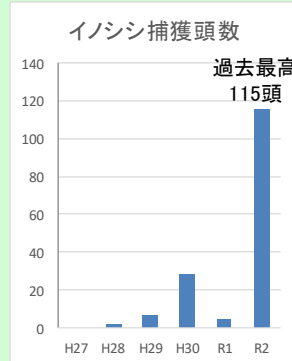
- 近年、目撃が増加しているイノシシの捕獲技術について、県が研修会を開催し、県内で捕獲実績をあげている隊員を講師に迎え、くり罠の設置方法等を学習

成果

- 新規狩猟免許取得者の40代以下、女性の割合が増加

〔40代以下 H27:53% → R2:68%〕
〔女性 H27:7% → R2:12%〕

- イノシシの捕獲頭数が増加 (H27:0頭 → R2:115頭)



新規実施隊員の確保・育成によるクマ・イノシシ対策(秋田県)

きっかけ・背景

- 高齢化による狩猟者の減少
- 平成28年度にツキノワグマによる人身被害が多発
- 新たにイノシシ等の目撃数が増加

課題

- 新たな担い手の確保及び育成
- 新たな獣種への対応
R2捕獲頭数
イノシシ:115頭

Step1 狩猟研修会

(H26~)

- 新たな担い手確保のため、県が狩猟に関心のある人を対象に狩猟の魅力を紹介
- 実施隊の活動をPR

Step2 被害防止対策研修会

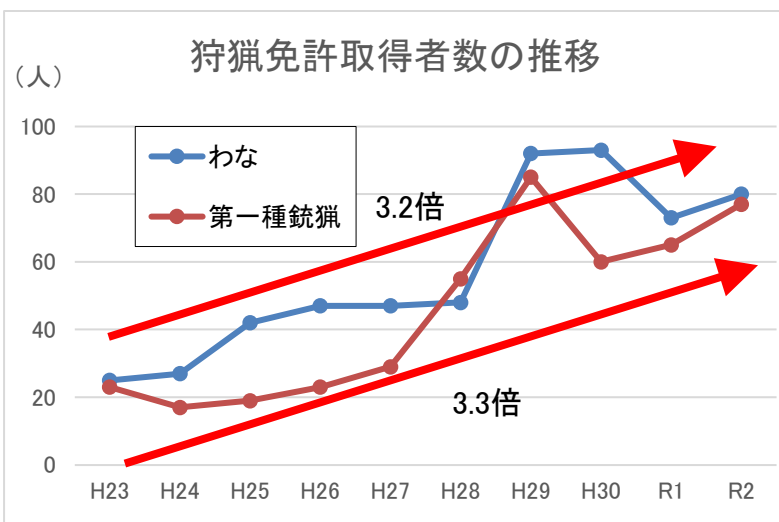
(H26~)

- 今後、被害が拡大する可能性のある、ニホンジカやイノシシ等に関する研修会を開催

Step3 中山間地域所得向上支援事業(R元)

支援事業(R元)

- 狩猟技術訓練施設の整備
- 狩猟者の技術向上を目的に、県立総合射撃場を再整備



狩猟研修会

取組の特色

- 本県は、今のところ、鳥獣被害が全国的には少ない地域であるため、地域における対策意識を醸成する取り組みを継続実施し、未然防除を推進することに主眼を置いた取組を推進

取組による成果・効果

- 新規狩猟免許取得者数が増加傾向にあり、40代以下、女性の割合が増加
- 平成28年度以降は、第一種銃猟、わな免許の新規取得者が増加
- イノシシの捕獲頭数が増加し、令和2年度に過去最高を記録